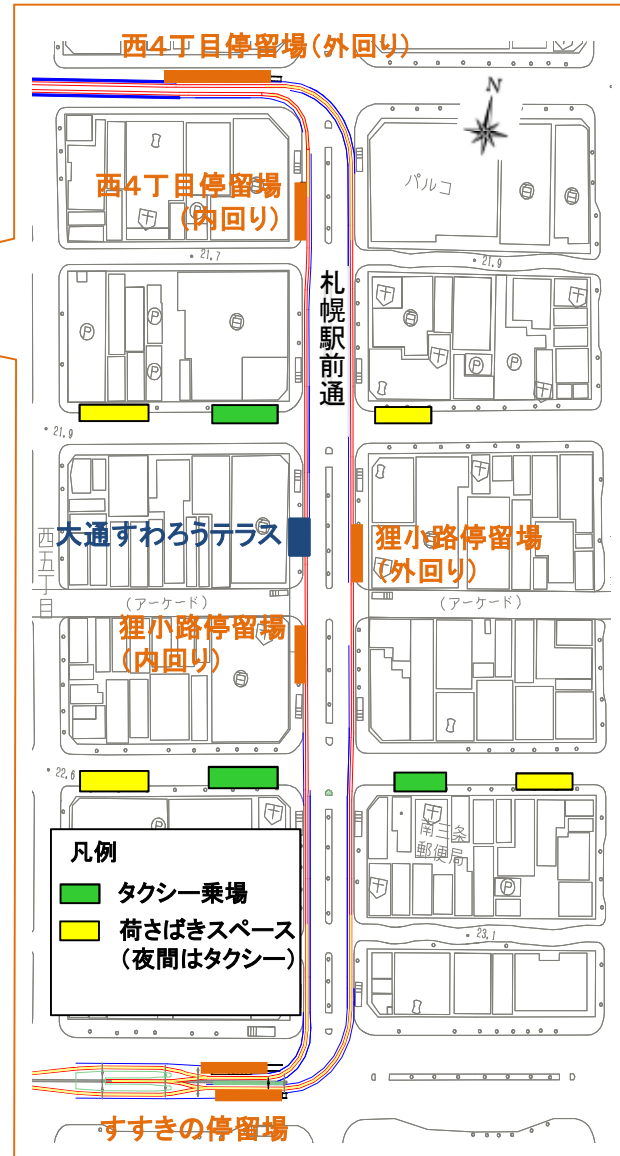


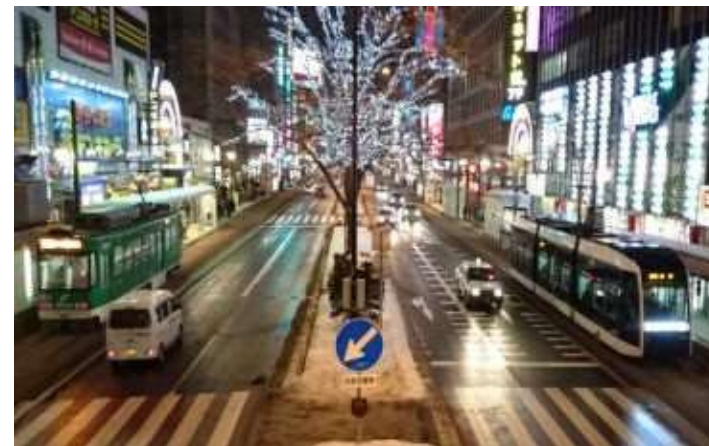
<路面電車のループ化前の状況>

- ・ 路線延長8.5km（ループ化前）、1日平均約2万人（年間約730万人）が利用
- ・ 沿線には医療機関や、公共施設、観光施設が点在



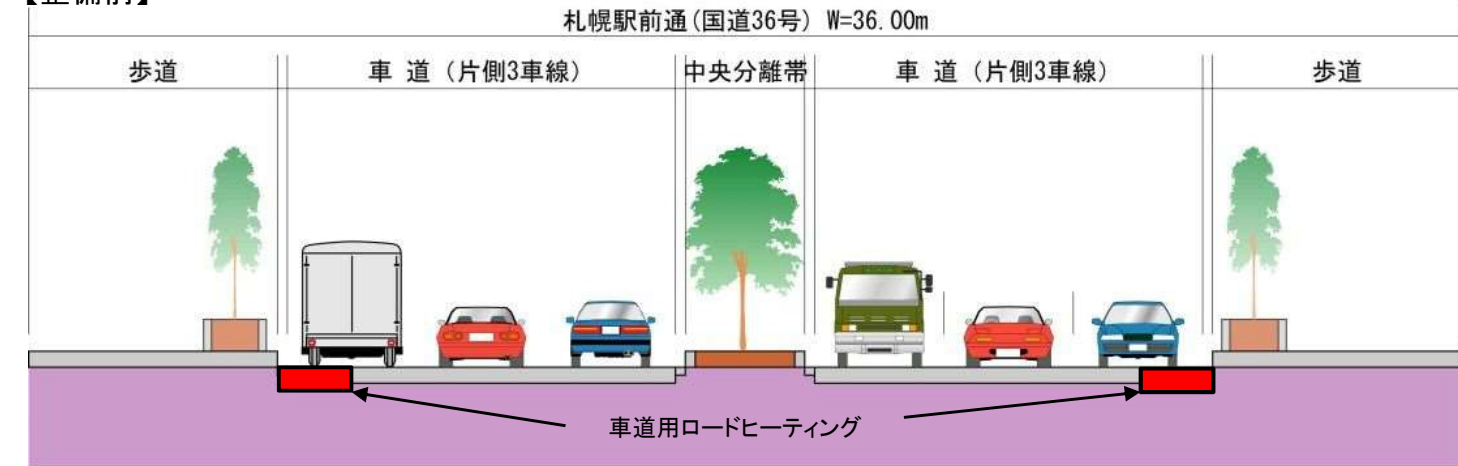
<路面電車のループ化事業概要>

- 整備の目的
  - 利便性の向上、利用者数の増加
  - 駅前通の魅力向上、都心の活性化、賑わい創出
- 整備の概要
  - 延長：400m
  - 開業：平成27年12月20日
  - 札幌のにぎわいの軸である駅前通で路線をループ化
  - 歩道側を走行するサイドリザベーション方式
  - 狸小路周辺に新たな停留場を設置

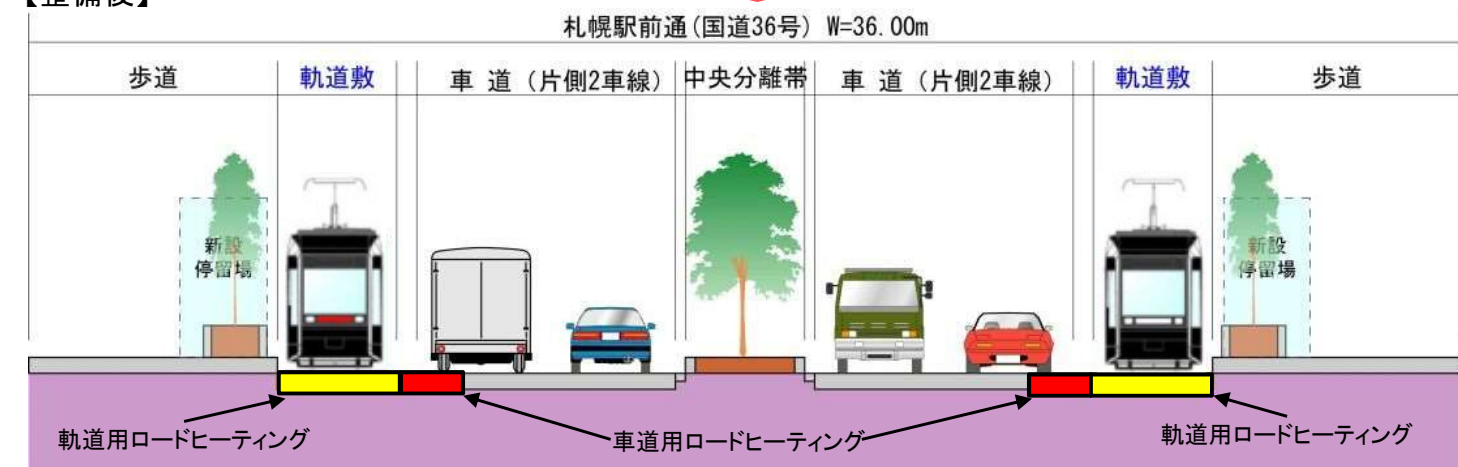


<整備断面>

【整備前】



【整備後】



<オープンカフェ「大通すわろうテラス」>

都市再生推進法人である「大通まちづくり株式会社」が、官民連携の取組みとして、駅前通の狸小路停留場に近接する歩道上に、ボックス型店舗とオープンデッキからなる「大通すわろうテラス」を平成25年8月に整備。

- にぎわいの創出、交流・滞留・休憩機能の向上
- 収入源確保による道路空間の維持管理・高質化
- 環境の質的向上・緑との共存
- 道路環境改善（駐車、乱横断防止）



<タクシー・荷さばき対策>

ループ化前に駅前通で行われていたタクシーの客待ちや荷さばき作業の代替スペースを、地元商業者や事業者、交通管理者等との協議により、札幌駅前通と交差する市道に整備。

